

シェアスタグループ(学び合い)

5年3組国語科指導案

授業者 杉井 文香

1 単元名 相手や目的を明確にして、すいせんする文章を書こう
「この本、おすすめします」

2 教材について

本単元は推薦したい相手を明確にし、その相手に本を読んでもらうという目的を達成するために、どう書いたらいいのかを考えることがねらいである。そのために推薦する相手を具体的に想起させ、どうしたらその人にその本の価値が伝わるのかを考えさせていく。

シェアスタの目指すところ

学び合いを利用して課題解決を行い、学習することの面白さを体感させ主体的に学ぶ児童を育成しよう。

本時のねらい

自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
【思・判・表】

学び合いのねらい

九九検定で関わったり、休み時間に遊んだりするなどして関係を深めている2年生を対象とし、相手を明確にすることで読書や書くことに対する意欲を持たせる。また友達と助言し合い、自己評価と相互評価を繰り返す話し合いを通して、自分の考えを深めることができるようにしたい。

児童の実態

- 書くことが苦手
- 読書が苦手な児童もいる。
- 下級生に対して面倒を見たい、手助けをしたいという思いが強い。
- グループで話し合い学び合う事で、苦手なことにも挑戦しようとしている。

単元の流れ

1 相手を想像しながらおすすめしたい本を選び学習課題を設定する。

2 構成を考える。
評【思・判・表】

3 下書きを書く。
評【知】

4 下書きを読みあい、伝わる表現を考える。
評【思・判・表】

5 清書する。
評【知】

6 読み合って感想を伝える。
評【思・判・表】
評【主】

※学級活動

2年生に発表する。

本 時

時間	本時の流れ
導入	1 前時を想起させる。
展開	2 めあてを確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2年生が今すぐ読みたくなるようなおすすめシートにしよう!</div> <p>3 気を付けたいポイントを確認する。 4 グループで下書きを読み合い、助言し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>評価 【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫しようとしている。 (下書き、修正後のワークシート)</p></div>
終末	5 振り返りをする。

メモ